

23:10 彼はベン・ヒノムの谷にあるトフェトを汚し、だれも、自分の息子や娘に火の中を通らせてモレクに献げることのないようにした。

23:11 それから、ユダの王たちが太陽に献納した馬を、【主】の宮の入り口、前庭にある宦官ネタン・メレクの部屋のそばから取り除き、太陽の車を火で焼いた。

23:12 王は、ユダの王たちがアハズの屋上の部屋の上に造った祭壇と、マナセが【主】の宮の二つの庭に造った祭壇を、そこから外して打ち壊し、砕いた。そうして、その灰をキデロンの谷に投げ捨てた。

23:13 王は、エルサレムの東、破壊の山の南にあった高き所を汚れたものとした。これは、イスラエルの王ソロモンが、シドン人の忌むべき女神アシュタロテ、モアブの忌むべき神ケモシュ、アンモン人の忌み嫌うべき神ミルコムのために築いたものであった。

23:14 また、石の柱を打ち砕き、アシェラ像を切り倒し、その場所を人の骨で満たした。

23:15 さらに彼は、ベテルにある祭壇と、イスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤロブアムが造った高き所、すなわち、その祭壇も高き所も打ち壊し、さらに高き所を焼いて粉々に砕いて灰にし、アシェラ像も焼いた。

23:16 ヨシヤが振り向くと、山の中に墓があるのが見えた。そこで彼は人を遣わしてその墓から骨を取り出し、それを祭壇の上で焼き、祭壇を汚れたものとした。かつて、神の人がこのことを預言して叫んだ【主】のことばとおりであった。

23:17 ヨシヤは言った。「あそこに見える石



碑は何か。」すると、町の人々は彼に答えた。「ユダから出て来て、あなたがベテルの祭壇に対してされたこれらのことを預言した神の人の墓です。」

23:18 王は言った。「そのままにしておけ。だれも彼の骨を移してはならない。」そこで人々は彼の骨を、サマリアから出て来たあの預言者の骨と一緒にそのままにしておいた。

23:19 ヨシヤはまた、イスラエルの王たちが造って主の怒りを引き起こした、サマリアの町々の高き所の宮もすべて取り除き、彼がベテルでしたのと全く同じことを、それらに対しても行った。

23:20 彼は、そこにいた高き所の祭司たちをみな、祭壇の上で屠り、その祭壇の上で人の骨を焼いた。こうして、彼はエルサレムに帰った。

ヨシヤの宗教改革は徹底していました。子どもを火で焼いて偶像にささげるというトフェトを使えないようにしました。また太陽を拝むための車も焼くなどしました。

何よりこれらの偶像が入り込んだのはソロモンの時代からであることも洞察し、その時代からの偶像の神々を壊し、汚し（すなわちこれを徹底的に壊滅させ）ました。偶像というのは単なる人の作り物なので、全く無力なのです。

「高き所の祭司たちをみな、祭壇の上で屠り」とあり、彼らを殺したことがわかります。厳しすぎるとも思われますが、異教の影響によって子どもを火で焼くという残酷な儀式が行われたことを考えると、当時としては止むを得ない措置といえるでしょう。

私たちの戦いは血肉に対するものではなく、霊の戦いであり、すなわち永遠の命に関するもので

すから、ヨシヤのような措置は必要ありません。しかし彼のように、主の前に偶像をきよめようと思うなら、真剣に徹底的にする必要があります。少しでもいい加減さや惜しむ思いで残していたら、それをサタンに用いられることになるからです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

